

—淀川に優し麗し斜張橋—

すがわらしろきたおおはし

# 菅原城北大橋

写真:小椋



■すがわらしろきた大橋全景  
(写真:大阪市建設局パンフ「なに  
わ八百八橋の良好な保全に向けて」  
平成21年より)



■橋名板



■川面に映える自然配慮の橋と旭区のお宝★大阪工業大学全景

## 沿革概要

平成元(1989)年6月 利用開始！

(昭和59(1984)年に着工)

【全 長】1,350(河川部1,203)m

【幅 員】25.5m

【行政区】旭区、東淀川区

【正式名称】淀川新橋有料道路

(大阪市管理)

【総費用】約234億円

【形 式】3径間連続斜張橋(合成桁橋)

【設計等】日本構造橋梁、

施工日立造船

と三菱重工。

公園部は鴻池組

【橋脚】壁式中空鉄筋コンクリート他

【橋桁】合成桁橋 (河川内の橋桁部分は、フレシネー方式カンチレバー工法、通称やじろべえ形式  
による鋼とコンクリートの接合で、当時珍しい合成桁)

## 大阪市で最初の有料道路橋

菅原城北大橋は、旭区生江の城北地区と東淀川区豊里の菅原地区を結ぶ大阪市で最初の有料道路橋で普通車の通行料100円のため、通称“百円橋”と呼ばれ利用されている。

(大型車150～350円、原付125CC以下10円)

当時、淀川に架かる市内北東部の橋は、長柄橋と旭区の豊里大橋の2橋で、慢性的な交通渋滞があり、緩和と市中心部への連絡を充実させるため、都市計画道路豊里矢田線整備事業の一部として2橋の中間地点に建設された。



■ 位置図



■ 料金所

柱間に多数ケーブルを張り強風への配慮がされている斜張橋！

